



UCIAニュース

発行 宇治市国際交流協会

事務局 〒611-8501 宇治市宇治琵琶33 宇治市役所秘書広報課内
電話 0774-22-3141(内線2058) FAX 20-8776
Eメール hishokohoka@city.uji-kyoto.jp

第 98 号
令和7年(2025年)7月

令和7年度総会を開催

令和7年度宇治市国際交流協会総会を4月19日(土)に宇治市生涯学習センターにおいて開催しました。

総会では令和6年度事業報告・決算が承認、令和7年度事業計画・予算が決定されました。

また、令和7年・8年度の理事及び監事が承認され、その後の理事会にて理事の中から会長、副会長が選出されました。

令和6年度事業報告・決算及び令和7年度事業計画・予算並びに新役員の皆様を紙面にてお知らせします。



※令和6年度事業報告はホームページにも掲載しています。



宇治市国際交流協会 令和7年・8年度役員名簿 〈令和7年6月6日現在〉

役職名	氏 名	選出団体等 (※は運営委員)
名誉会長	松 村 淳 子	宇治市長
名誉副会長	木 本 裕 章	宇治市議会議長
名誉会員	久保田 勇	個人
会 長	山 本 正	個人
副会長	伊勢村 紀久子	個人 ※
副会長	小永井 宏 子	個人 ※
副会長	矢 野 友次郎	個人 ※
副会長	川 野 智	宇治市日本中国友好協会 ※
理 事	今 川 博	個人
理 事	城 島 健 治	個人
理 事	西 村 三 典	宇治商工会議所
理 事	中 谷 諒	宇治青年会議所
理 事	水 嶋 眞 美	宇治市社会福祉協議会
理 事	土 井 邦 紘	宇治ロータリークラブ ※
理 事	安 井 和 彦	宇治ライオンズクラブ
理 事	山 田 敏 信	宇治市スポーツ協会 ※
理 事	西 山 正 一	宇治市体育振興会連合会

役職名	氏 名	選出団体等 (※は運営委員)
理 事	金 丸 公 一	宇治市観光協会
理 事	中 林 和 夫	京都やましろ農協中宇治支店
理 事	清 水 幹 央	宇治市茶生産組合
理 事	玉 井 宗 文	宇治市茶道連盟
理 事	西 澤 悦 子	朋友館運営委員会
理 事	玉 井 康 義	宇治建設業協会
理 事	田 崎 仁	宇治市造園協会
理 事	藤 井 嘉 男	宇治市芸術文化協会
理 事	奥 村 幸 子	個人 ※
理 事	辻 久	個人 ※
理 事	竹 村 章 治	個人 ※
理 事	永 田 和 彦	個人 ※
理 事	永 谷 和 子	個人
理 事	大 倉 良 子	個人
監 事	小 林 幸 大	京都銀行宇治支店
監 事	小 山 茂 樹	個人
事務局長	中 本 由 佳	秘書広報課副課長

国際交流講演会



今年度も総会に先立ち国際交流講演会が開催されました。昨年、当協会団体会員でもある黄檗山萬福寺の法堂、大雄寶殿、天王殿の三棟が、国宝に指定されました。今回はこれを機会に、黄檗山萬福寺宗務総長の荒木将旭^{しょうきょく}禅師を講師にお迎えし、『黄檗山萬福寺の歴史・文化の探訪』と題してお話しいただきました。萬福寺が建立された当時のことや、隠元禅師が日本の文化や政治に与えた影響について、聴講者の一人一人に語りかけるようにお話しくださり、当日は多くの聴講者が来場されました。

隠元禅師は1654年に臨済宗の僧侶に招かれて日本に渡って来られましたが、当初の日本は鎖国中であったことから禅師は7年間長崎に滞留されていました。長崎では禅師の音楽を奏でるような読経が珍しかったこともあり、一目見ようと人々が集まり「隠元詣（いんげんもうで）」という言葉ができたほどでした。それが江戸幕府の第四代将軍徳川家綱の耳に入り、家綱は萬福寺の建立と布教を認めたということです。

お寺は中国の福建省にある黄檗山萬福寺と全く同じ様式の建て方で建てられ、中国の明朝の設計で日本の大工が建てたという建物は世界でも宇治の萬福寺しかないということです。上空から見ると竜が宇治川へ水を飲みに来ているような形にされています。総門の前に二つある井戸は竜の目、総門に入ってすぐの池は竜の心臓、中へと続くひし形の敷石は竜の背中を表しています。地元の小学生は萬福寺に関する社会見学の準備学習により竜の背中を歩ける人は特別な人だという伝承をよく知っていて、実際の見学では敷石の真ん中を歩かないそうです。萬福寺は中国のお寺と同じく入口と法堂の間に天王殿がありそこに布袋（ほてい：中国では弥勒菩薩という）が祀られています。ぜひ多くの方にお参りいただき、積まれた徳を布袋の袋から持って帰って下さい、とのことでした。

隠元禅師が日本に伝えたことは多く、たとえば食べ物ではいんげん豆は有名ですが、その他にも、すいか、たけのこ、れんこん、もやしなどで、当時の日本では竹は工芸品の材料として使用、蓮は花を觀賞していましたが、禅師は中国では竹の新芽や蓮の根を食べるということを伝え、煎茶に関して日本では薬のように扱われていたのですが、気軽に淹れてみんなで集まったときに楽しみながら飲むという中国の習慣を伝えました。また黄檗宗の僧侶は日本初の干拓工事の指揮を執る、図書館をつくるなど日本全体を豊かにするような事業を数多く実施したため、徳川家から重宝され萬福寺は裏葵（裏から見た葵）という紋を授かるほどでした。また、徳川家は隠元禅師や黄檗宗の僧侶から政治についても学んでいたようです。

隠元禅師は亡くなってから今までに天皇陛下より四つの国師号と三つの大師号を賜っています。この名は諡号（しごう）とよばれ貴人や僧侶が亡くなった際に生前の行いを尊んで天皇より贈られる名のことで、中国人であった隠元禅師は7つもの名前を贈られており、その功績がいかに偉大であったかを物語っています。

荒木禅師は最近出席されたカンボジアでの宗教サミットで対面であればことばや習慣が違っても通じあえると実感され、これからも世界の平和のために貢献したいとおっしゃっていました。

令和6年度

【事業報告】

1. 啓発・研修事業

事業名	実施時期	事業内容	実施場所
①国際交流講演会	4月21日	4月21日の総会開催に併せて、海外でも人気のある『源氏物語』のうち最後の十帖の主な舞台で古くから人々に愛されてきたまち宇治の魅力を再発見すべく、『宇治の大河とともに源氏物語をよむ』と題して会員及び市民を対象に、講演会を開催。	宇治市生涯学習センター
②協会ニュースの発行	年2回(7月、1月)	各400部を発行し、各会員や友好都市、関係団体などに配布した。	
③ホームページ管理運営	適宜更新	引き続き事業のお知らせ等を適宜掲載するとともに、昨年新設した外国人住民のためのページを適宜更新して生活情報や防災についても発信している。	
④語学講座 (④-1ベトナム語入門講座・ ④-2英会話(初級・中級)講座)	④-1:10月26日～12月22日	会員や市民を対象に④-1ベトナム語入門(全8回)を実施した。受講生:12名	宇治市生涯学習センター
	④-2:10月30日～11月27日	会員や市民を対象に④-2英会話(初級・中級)(全5回)の語学講座を実施した。受講生:14名	宇治市生涯学習センター
⑤日本語支援ボランティア養成講座	11月10日～12月15日	在住外国人に日本語の学習支援を行うボランティアの養成講座を開催(全5回)。受講生:20名	宇治市生涯学習センター
⑥日本語教室	通年	当協会運営の日本語教室を年間を通じて開講した。 また、朋友館とスピークサロン、宇治日本語教室が実施している日本語教室に協力金を交付した。	宇治市生涯学習センター 他
⑦多文化共生事業	12月22日	『うーちゃフェスタ』のイベントにブースを出店してインドネシア・ジャマイカ・フランス・イギリス各国のお菓子和飲み物を提供して参加した。	宇治市産業会館
	適宜	ベトナム人会員によるベトナム語での生活情報をFMうじより発信した。	
⑧市民啓発・国際理解交流	2月16日	『宇治まなびんぐフェスタ2025』にベトナムの菓子の作り方などの文化紹介、コロンビアのコーヒーに関する展示およびコーヒーを提供して参加した。	宇治市生涯学習センター

2. 交流推進事業

事業名	実施時期	事業内容	実施場所
友好都市からの訪問団の受入など		毎年5月に来訪していたカナダ、カムループス市、トンプソン・リバーズ大学学生の訪問は、大学側の都合により本年度は中止。	

3. その他の事業

事業名	実施時期	事業内容	実施場所
①滞日外国人に対する防災対策	適宜	京都府国際課及び京都府国際センター共催の災害時外国人支援ネットワーク会議及びWeb会議に出席。7月27日に外国人住民のための防災研修を行い、10月22日に開催された宇治市主催の防災訓練にブースを出展し、外国人住民にも参加いただいた。	
②各種国際交流・国際理解事業の支援	通年	協会加盟団体等が実施する国際交流・理解事業に補助金を交付して支援	
③関係団体との連携・協力	通年	関係団体主催事業への参加、協力、後援	
④府・他市町村との連携	適宜	広報誌などを通じての情報交換、連携	
⑤(公財)京都府国際センターとの連携	適宜	(公財)京都府国際センターへの評議員派遣、国際交流団体等との連携を促進	

令和6年度

【決算報告】

収入の部

項目	当初予算額	収入済額	差引増減	説明
1.会費	440,000	480,000	40,000	1 個人会員 131人 (内学生2名@千円) 260,000 2 団体会員 18団体 90,000 3 法人会員 13団体 130,000
2.補助金	1,300,000	1,300,000	0	1 協会事業補助 1,300,000
3.負担金	110,000	150,000	40,000	1 語学講座参加者負担金 142,000 (@7,000×6人、@5,000×20人) 2 日本語ボランティア講座参加者負担金 8,000 (@2,000×4人)
4.繰入金	487,000	68,531	-418,469	1 交流活動事業繰入金 68,531
5.繰越金	0	0	0	1 前年度繰越金 0
6.雑入	0	36,823	36,823	1 預金利息 1,083 2 寄附 0 3 その他 35,740
合計	2,337,000	2,035,354	-301,646	

支出の部

項目	当初予算額	支出済額	差引増減	説明
1.会議費	10,000	39,245	29,245	1 総会・理事会・運営部会 39,245
2.事務費	60,000	18,382	-41,618	1 事務消耗品 16,292 2 印刷代 2,090
3.事業費	2,260,000	1,977,727	-282,273	1 国際交流講演会 30,000 2 会報発行 157,442 3 ホームページ管理運営 121,030 4 語学講座 278,570 5 日本語基礎講座 982,725 6 日本語ボランティア養成講座 129,300 7 友好都市訪問事業 0 8 友好都市歓迎事業 0 9 海外友好交流推進事業 0 10 提携事業 120,000 11 防災対策事業 69,987 12 周年記念事業 0 13 市民啓発・国際理解交流 88,673
4.諸支出金	7,000	0	-7,000	1 構成団体会議出席負担金等 0
合計	2,337,000	2,035,354	-301,646	

令和7年度

【事業計画】

1. 啓発・研修等事業

事業名	実施時期	事業内容	実施場所
①国際交流講演会	4月19日	国際理解推進を図るため、会員及び市民を対象に講演会を開催する。	宇治市生涯学習センター
②協会ニュースの発行	年2回	各400部を発行し、各会員や友好都市関係団体などに配布する。	
③ホームページ管理運営	適宜更新	ホームページに各種講座案内、お知らせ、事業報告等を掲載する。	
④語学講座	11月～12月	会員や市民を対象に語学講座を実施する。(全8回)	宇治市生涯学習センター
⑤日本語支援ボランティア養成講座	10月～12月	市内在住の外国人に日本語を教えるボランティアの養成講座の開催。	宇治市総合福祉会館
⑥日本語講座	通年	当協会主催で市内在住の外国人を対象にした教室を毎週土曜日に開催する。また、外国人対象の市内の日本語教室を支援する。	宇治市総合福祉会館
⑦多文化共生事業	通年	多文化共生に必要な異文化理解の一助として市内在住の外国人と市民との交流会等の開催。	
⑧市民啓発・国際理解交流	適宜	市民を対象に国際理解、交流を目的とした講座や交流会を開催する。	
⑨滞日外国人に対する防災対策	適宜	宇治市に居住もしくは観光される外国人に対する防災対策の取り組み。	
⑩各種国際交流・国際理解事業の支援	通年	協会加盟団体等が実施する国際交流・理解事業に補助金を交付して支援。	
⑪関係団体との連携・協力	通年	関係団体主催事業への参加、協力、後援。	
⑫府・他市町村との連携	通年	広報誌などを通じての情報交換、連携。	
⑬(公財)京都府国際センターとの連携	適宜	(公財)京都府国際センターへの評議員派遣、国際交流団体等との連携を促進。	

2. 友好都市との主な取り組み

事業名	実施時期	事業内容	実施場所
①友好都市からの訪問団の受入など	5月下旬	カムループス市からトンプソンリバーズ大学関係者を受入。	
②友好都市への訪問団の派遣など		なし	
③来訪者歓迎・海外友好交流促進	適宜	外国都市からの来訪者の歓迎、友好都市をはじめ海外都市との友好交流促進。	

令和7年度

【 予 算 】

収入の部

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減	説明
1.会費	440,000	440,000	0	1 個人会員 @2,000×100人 200,000 2 団体会員 @5,000×16団体 80,000 3 法人会員 @10,000×16団体 160,000
2.補助金	1,300,000	1,300,000	0	1 協会事業補助 1,300,000
3.負担金	110,000	110,000	0	1 語学講座参加者負担金 110,000
4.繰入金	287,000	487,000	-200,000	1 交流活動事業積立金より 287,000
5.繰越金	0	0	0	1 前年度繰越金 0
6.雑入	0	0	0	1 預金利息等 0
合計	2,137,000	2,337,000	-200,000	

支出の部

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減	説明
1.会議費	10,000	10,000	0	1 総会会場・通信等 10,000
2.事務費	60,000	60,000	0	1 消耗品代 30,000 2 印刷代 30,000
3.事業費	2,060,000	2,260,000	-200,000	1 国際交流講演会 30,000 2 協会ニュース発行 130,000 3 ホームページ管理運営 120,000 4 語学講座 270,000 5 日本語基礎講座 600,000 6 日本語支援ボランティア養成講座 260,000 7 支援者確保のための広報 240,000 8 友好都市歓迎事業 100,000 9 提携事業 180,000 10 防災対策事業 30,000 11 市民啓発・国際理解交流 100,000 12 友好都市訪問事業 0
4.諸支出金	7,000	7,000	0	1 構成団体会議出席負担金等 7,000
5.予備費	0	0	0	1 予備費 0
合計	2,137,000	2,337,000	-200,000	

トンプソン・リバーズ大学研修生一行来宇

5月20日～23日

宇治市の友好都市カナダ・カムループス市にあるトンプソン・リバーズ大学より、Thomas Waldichuk 先生引率のもと、地理学研修と日本語研修の一環として 15 名の研修生一行が、5 月 20 日（火）～ 23 日（金）にかけて来訪されました。

20 日の夕方に京都入りされ、バスで JR 宇治駅に向かう途中、カムループス通りへ寄り、通りに名前がついていることやトーテムポールを見て宇治市とカムループス市の友好の証に感激されていました。

21 日は朝から宇治市長を表敬訪問されました。その後、市職員から「宇治市の概要」、「宇治市の都市計画」、「宇治市の歴史と文化」、「宇治茶」について研修を受け、熱心に聞いていただき質問も多く出ました。

昼からは京都文教大学で学生によるプレゼン発表、授業見学のあと、ウェルカムパーティーがあり盛大な歓迎会が開催されました。

22 日は対鳳庵でのお点前体験の後、観光ボランティアさんの案内で平等院とその周辺のフィールドワークを行いました。昼からは浮島十三重塔、鵜の飼育場、宇治上神社、源氏物語ミュージアムなどを回り、観光ボランティアさんの説明を興味深く聞いておられました。夕方からは、日本の家庭を体験していただくホームビジットのため各受け入れ先の家庭へ向かいました。各ご家庭では学生たちが楽しめる工夫をしていただき、夕食だけでなく様々な日本のおもてなしを満喫されました。

23 日は当協会主催の歓迎会を行いました。会員の皆様に会場準備などにご協力をいただき、オープニングを琴音人（ことねっと）さんの演奏で飾っていただいた後、けん玉や羽子板、こま回し等、日本の昔の遊びを体験してから食事を囲んで、参加者の皆さんと友好を深めました。

昼には宇治から次の目的地へと旅立たれました。

ホームビジットをはじめ通訳や歓迎会等で多くの方にご協力をいただき、本当にありがとうございました。皆様のご協力のおかげで、一行にとって今回の宇治市滞在は対面での国際交流の楽しさや大切さを改めて感じる印象深いものとなったことでしょう。



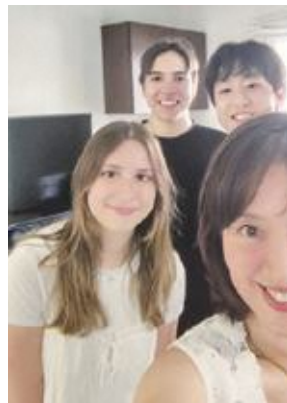
TRU一行 ホームビジット

5月22日に、当協会団体会員のホストファミリーグループを中心にしたご家庭の夕食にTRU一行を招いていただき、3時間余り交流されました。



どんな方が来られるのだろうという緊張もありましたが、二人の学生さんは手巻き寿司を喜んで食べてくれて安心しました。食事中や送迎の車内で、カナダと日

本の学校制度の違いや、今回の滞在中に見てきた日本の風景についてのお話を伺い、日本の風土の豊かさをあらためて感じました。また、子どもたちともカードゲームと一緒に楽しんだり、学生さんがスケッチしてきた絵を見せてもらったりと、和やかに楽しい時間を過ごしました。文化の違いを感じながらも心温まる交流ができて、貴重な経験になりました。(T.)



Maia & Ken が来てくれました。手作りのおにぎりを食べたことがないと言うので、作って出すととても喜んでいました。普段の我が家の食事を、今回の旅でベストミールと褒めてもらえて嬉しかったです。『宇治の抹茶は、カムループスで飲む物より断然美味しい。抹茶は買って帰って道具は帰ってからネットで注文する』と、はりきっていました。宇治市や日本に興味を持って楽しんでくれたなら、ホームビジットに来てもらっ

た甲斐があります。私たち家族もよい時間を過ごすことができました。(I.)



日系3世のキャロルさんと大学2年生のベスさんが我が家に来てくれた。ベスさんの家族は14人兄弟という大家族で驚いた。たこ焼きを焼くのは初めてだったので、形が崩れても大笑いしながら楽しんでいたので印象的だった。習字の練習も準備していたが、食事をしながらの会話が弾み、じっくり練習できなかったのが少し残念だった。それでも、お土産を交換しながら和やかな時間を過ごし、お互いに有意義なひとときとなった。「次回は習字をもっと練習したい」と言っていたので、またの訪問が楽しみだ。こうした交流を通じて、お互いの文化を深く理解できるのはとても貴重な経験だと感じた。(T.)

我が家にはトーマス君とフィチャーさんが来てくれました。今日は対鳳庵に行ってきたので、ウェルカムTea セレモニーをし、柄杓の扱いもやってみました。二人ともお茶の飲み方をよく覚えておられました。特にフィチャーさんは抹茶が大好きでした。食事をしながら、趣味の話やカムループスへ行った時の話で盛り上げました。朝から部屋を調べたり、ピザをこねたりでつかれましたが、楽しく交流できたのでよかったです。(S.)



子どもたちは一緒にゲームがしたいと心待ちにしており、準備から楽しんでさせていただきました。学生さん到着後は、みんなでたこ焼きを作り、お寿司やサラダもいただきました。また、子どもたちは共通の話題だったアニメの話で盛り上がりました。今回国際交流の機会を頂き、私達家族にとっても大変有意義な時間になりました。(F.)

我が家を訪れたのは、大きな体のセスさんと日系3世のリオンさん。二人とも日本語を少し勉強していると聞き、易しい日本語と英語で会話を始めました。びっくりしたことに、リオンさんのおじいさん、おばあさんは私と同郷で、私が「インコを飼っている」と話すと彼女も「インコを飼っている」と言うのです。奇遇で嬉しくなりました。熱々のたこ焼きを食べたセスさんは「カナダでも食べたことがあるけど、カナダのタコ焼きは寒い」と言うのです。「ああ、それは、冷たいと言うのですよ」と日本語レッスン。翻訳アプリも利用して、楽しい時間を過ごしました。今回のホームビジットの体験が二人にとり、良い思い出になれば幸いです。(K.)

雑観雑感

今年から事務局長を務めることとなりました。初めて協会に関わらせていただいたのが7年前でした。この間、協会の名称が「宇治市国際親善協会」から「宇治市国際交流協会」に変更されるとともに、多文化共生が主たる目的に加わるなど、社会情勢の変化に合わせてそのあり方も変遷してきました。宇治市においてもコロナ後からインバウンドが増加し、中宇治地域を歩いているとすれ違う多くの方が外国の方で、ここが宇治市だと忘れるぐらい様々な国の方が行き交っています。加えて特定技能外国人の更なる増加が見込まれるなど、多様なバックグラウンドを持つ人々がお互いを理解しながら共生していくことがますます重要になっています。

また、今年は4月から、大阪の夢洲で、日本では20年ぶりの万博となる「大阪・関西万博」が開催されています。150を超える国や地域が、それぞれ趣向を凝らしたパビリオンを出展しており、日本にいながら世界の国の文化に触れて体験することができ減多にない機会です。協会でも様々な機会を通じて、多文化共生や国際交流がもっと身近に、そしてもっと当たり前になるよう、微力ながら皆さんと一緒に取り組んでまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。(Y.N.)